

【 パ ッ ケ ー ジ ソ フ ト 】

セル市場 12月度レポート

◆————◆
< 2012年1月20日 >

「音楽」「アニメ」がリードして
2011年最大の売上となった12月
「映画」が足を引っ張り、
前年実績には及ばず

KRI 

キネマ旬報映画総合研究所

セル市場
12月度レポート

【11年最小売上の10月比では、数量で255.1%、金額では318.9%】

11月に回復したマーケットは、最繁忙期である12月にはさらにワンステップ拡大し、期待通り2011年最大の売上となった。調査会社GfK Japanの販売数量上位300タイトル集計によると、数量が285万9050枚、金額では132億3300万円。それまで最高だった1月を、数量で113.0%、金額では122.5%と大きくクリアした。1月が5週集計、12月が4週集計であることを考えると、まさにダントツの数字となった。12月を含む11年の月平均は、数量で198万2439枚、金額で77億7501万円となり、その比較からも12月の売上規模の大きさが分かる。また11年で最も厳しい売上となった10月に比べると、12月は数量が2.6倍、金額は何と3.2倍にもなり、季節偏差や消費者心理の動向、そして何よりリードタイトルの強弱に大きく売上が左右されるセルマーケットの実情を浮き彫りにした。ただしその12月でも前年同月比は、数量で87.7%、金額では88.7%と大きな落ち込みとなっており、市場の完全回復には、もう少し時間が必要なのかもしれない。

【ジャンルシェアは、「音楽」36.2%、「アニメ」28.5%、「映画」23.4%】

売上数量で12月のランキングを見ていこう。トップとなったのは、131,398枚を販売した『カーズ2 DVD+ブルーレイセット』。2位は『機動戦士ガンダムUC 4』BDの113,314枚で、「アニメ」ジャンルがワンツーフィニッシュとなった。『カーズ2』はこのほか25位に『～ブルーレイ』、74位に『～3Dスーパーセット』が入り合計では161,922枚。“ガンダム”は10位のDVDを合わせると166,727枚となり、作品としては順位を逆転する。「アニメ」でこれに続くのは、23位『IS〈インフィニット・ストラトス〉アンコール『恋に焦がれる六重奏』』、24位『化物語 Blu-ray Disc BOX』。『ONE PIECE Log Collection』の『～“WATER SEVEN”』『～“FOXY”』が26位、27位に入った。この月の「アニメ」は、トップ300に77SKUがランクされ、トータル813,610枚のセールス、シェア28.5%と、市場の活性に大いに貢献した。

その「アニメ」を上回り、トップシェアとなったのは「音楽」だ。販売数1,036,096枚は、総売上枚数の3分の1を超え、36.2%を占めた。3位『安室奈美恵／namie amuro LIVE STYLE 2011』、5位『氷室京介／東日本大震災復興支援チャリティライブ KYOSUKE HIMURO GIG at TOKYO DOME "We Are Down But Never Give Up!!"』、6位『SMAP／THANKS FOR BEIJING!!』、7位『少女時代／JAPAN FIRST TOUR GIRLS' GENERATION【豪華初回限定盤】』、9位『ケツメイシ／ケツの極～MV集～』と5作品がトップ10入りしたほか、100位までに33作品、300位までに92作品がランクされた。11年の「音楽」ジャンルは、1月から7月まで各月のトップだったが、8月以降、タイトル不足から「アニメ」や「洋画」の後塵を拝してきた。5ヶ月ぶりの首位奪還となった勢いが、大きく回復した12月のセルマーケットの原動力となったことは間違いない。

これに対して、「洋画」「邦画」の映画ジャンルは厳しいセールスとなった。『パイレーツ・オブ・カリビアン』、『ハリー・ポッター』の新作が発売された11月の6割強の売上枚数で、洋邦合計でも23.4%とシェアを大きく落とした。「洋画」トップは4位に入った『トランスフォーマー／ダークサイド・ムーン ブルーレイ+DVDセット(2枚組)』で、11位のDVD版を合わせると、120,408枚の好セールスだった。しかし洋画全体では、この2SKUを含めても30位までにわず

セル市場
12月度レポート

か5アイテムという厳しい状況だ。「邦画」にいたっては、103位の『アンダルシア 女神の報復 スタンダード・エディション』が最高位で、300位までにわずか13SKUが入ったのみだ。

売上金額ベースで見ると、ランキングはがらりと変わる。トップは、『とらドラ! Blu-ray BOX【完全限定生産版】』。数量では30位ながら、38,000円の単価でトータル570,264,573円を売り上げた。2位は『機動戦士ガンダムUC 4』BDの523,801,876円、3位は『化物語 Blu-ray Disc BOX』の473,303,945円とトップ3は「アニメ」のBDが独占。1位と3位はアニメファン向けの高額BOXで、引き続きこのジャンルへの依存度の高さを証明した。ちなみに4位は『ダウンタウンのガキの使いやあらへんで!! (祝) 放送23周年目突入記念DVD 永久保存版 ⑰ (罰) 絶対に笑ってはいけないスパイ24時 初回限定版』が468,611,756円のセールスで、5位には『氷室京介／東日本大震災復興支援チャリティライブ KYOSUKE HIMURO GIG at TOKYO DOME "We Are Down But Never Give Up!!"』が438,767,892円で続いた。

【各販売店とも11年最大の売上に。売れ筋上位には特徴が表れた】

各販売店でも12月は軒並み11年最高を記録した。「まあまあ年末商戦」という声は一致するものの、映像商材の前年比較では、大手チェーンの間でも100%前後から80%台前半まで、実績が割れた。売上への貢献度が高かった「音楽」や「アニメ」ジャンルでの得手不得手が表れたほか、「バラエティ」商材への取り組みの差が結果を分けたようだ。代表的なチェーン店本部の声を拾っていくと――。

■CD・DVD販売店A社……音楽ビデオを含むと前年比108%、除いた映像商材で93%。ほぼ見込みどおりだが、ランキングとかギフトとかで大きく盛り上がることなく、印象としては年末感が薄かった。音楽ソフトを除くと、『カーズ2 DVD+ブルーレイセット』、『ダウンタウンのガキの使いやあらへんで!!～』、『トランスフォーマー／ダークサイド・ムーン ブルーレイ+DVDセット (2枚組)』がトップ3。特徴が出たのは、4位の『美男ですね～初回2時間スペシャル・エディション～』と5位の『USAVICH season4』だろう。

■CD・DVD販売店A社……トータルでは前年をわずかながら割った。音楽ソフトを除くと、12月といえども厳しい結果となった。特に新作映画が計画を下回るケースが多発し、期待通りだったのは『ハリー・ポッターと死の秘宝PART2』くらい。12月のランキングに2位DVD、3位BDが入った『トランスフォーマー～』ですら、“思い”には届かなかった。年末の上位に、『アリス・イン・ワンダーランド』、『ナルニア国物語／第3章：アスラン王と魔法の島』、『アバター』、『ツーリスト』、『バーレスク』など“どれ3”タイトルが並ぶのが実情だ。

■家電量販店C社……音楽ソフトが支えた12月だった。映画は、月初に発売されたタイトルがひと月持たない。10年12月と比べると、リアル店実績ではほぼ100%で、WEBを含めると20%くらいアップしたが、もうひと伸びできないのは映画のパワー不足が原因か。『スターウォーズ コンプリート・サーガ ブルーレイBOX【初回生産限定】』は大幅な割引をしたものの、いまひとつ動かなかった。1位は、12月28日発売の『AKB48 よっしゃあ～行くぞぉ～! in 西武ドーム スペシャルBOX』が飛び込んだ。2位と5位に『機動戦士ガンダムUC 4』のBD、DVDがそれぞれ入るあたりは、当店らしい動きといえる。

■CD・DVD販売店D社……映像は音楽を含めると前年の93%、除くと92%。CDが好調だった

**セル市場
12月度レポート**

こともあって、映像ソフトも音楽商材が上位に連なった。いわゆるDVD市場で売れている物と、当社のランキングにズレが出たと感じている。1位は『カーズ2 DVD+ブルーレイセット』、2位は『美男ですね コンプリートDVD-BOX』だが、3位からは山下智久、AKB48、SMAP、氷室京介、L'Arc〜en〜Ciel、安室奈美恵とアイドル、アーティストのライブものが続く。映画作品の厳しさが浮き彫りになった。

また、CD・DVD販売店E社では、グループ会社の限定タイトルが5位と8位に入り、独自のランキングとなった。D社が言う「市場と自社のランキングが違った」との言葉どおり、販売店によって売れ筋が違うという傾向が、以前より顕著になってきている。